



# フィンドレー大学留学報告書

鈴木ひばり

もう留学報告書2回目を書く時期になりました。  
9月23日から秋が始まり、最近は気温が下がっていることを肌で感じます。

9月は一言で言うと「怒涛」でした。毎日とても忙しく、日本で過ごす3日分をアメリカで1日で消費しているような感覚になります。私達が受講しているIELPの授業は毎日あり、ほぼ毎日が朝9時に始まるという大学生にとっては苦行のようなスケジュールです。

休日もネイティブの方や様々な国籍の方に日本食を作ったり、協会に行ったり、ダウンタウンのカフェに行ったりと、とても充実した日々を送っています。

先月の報告書で「日々が経つのがとても遅く、このままではアメリカに50年近く住むことになる」と書きましたが、この生活に慣れてきたのか9月半ばあたりから時の流れがとても早くなり、このままだと無事に後7か月で日本に帰れそうです。

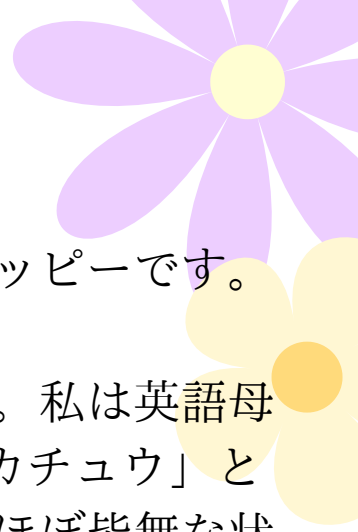
私は、アメリカに来てからどんなに楽しいことをしても、とても貴重な経験をさせていただいていても「日本に帰りたい」という気持ちがずっと心の根底にあるまま生活しています。

周りにいる日本人の友達はこの留學生活を純粹に楽しんでいように見える人たちが大多数なので(本当の気持ちはわからないけれど…)こんな気持ちで生活している自分は良くないのではないかと自分自身に疑問を投げかけることが多々ありました。

しかし、最近になってこの気持ちを抱いている自分を否定しないようにしようと前向きに捉えられるようになりました。

マイナスな感情を抱いてしまうのは自然なことであってこの思いも留学に来れたから感じられたことだと自分の中で





財産だと思っています。

現にこの留学報告書を花柄で作っているくらい私はハッピーです。

留学に来て二ヶ月で英語の能力の成長を実感しました。私は英語母語話者の人が話す「Take a picture」を「Take a ピカチュウ」と聞き取ってしまう程英語力は壊滅的でした。英語力がほぼ皆無な状態でアメリカに来たのである程度英語力がある状態で来た人よりも英語の伸びの成長は感じやすいと思います。

今は、わからない単語ももちろんたくさんありますが、大体の話の文脈で汲み取れたり、私も返答したりすることができるようになりました。

初期の頃から仲良くしている英語母語話者の方にも「君の英語力は伸びたよ」と言ってもらえてとても嬉しかったです。

しかし、まだ英語力は低いレベルから変わっていないので、これからもネイティブの人に囲まれている恵まれた環境で頑張っていきたいです。

10月も楽しみなこと盛りだくさんです。

9月のように毎日忙しく充実した日々になりそうです。

日々にときめきを感じながら生活していきます。

